＜No.7＞　真知亜（まちあ）@nakama.

NHK 交響楽団のヴァイオリニストであり、ソリスト･室内楽奏者･馬頭琴奏者･喉歌唱者、さらに指揮者としての活動まで…。
とどまるところを知らない齋藤真知亜とジャンルを超えたアーティストたちとの共演。演劇の舞台でも注目を集めた真知亜の楽しいお話で、クラシックはもちろん「おんがく」の楽しさを味わい尽くす音楽会です！

A	公演名	**真知亜@nakama.　～楽器の魅力～**
	内容	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノそれぞれの楽器の魅力を存分にお伝えするプログラム。NHK 交響楽団の“nakama”たちとのアンサンブルによる極上の音楽会。 【曲目例】 マスネ／タイスの瞑想曲　　フォーレ／夢のあとに J.S.バッハ／無伴奏チェロ組曲第 3 番　　J.S.バッハ／ゴルトベルク変奏曲より ブラームス／ピアノ四重奏曲第 1 番 Op.25
	出演	ヴァイオリン：齋藤　真知亜（NHK 交響楽団第 1 ヴァイオリン次席奏者） ヴィオラ：１名　　チェロ：１名　　ピアノ：１名
B	公演名	**真知亜@nakama.　～僕はこのようにしてヴァイオリン弾きになった～**
	内容	齋藤真知亜が、幼い小さな手で初めてヴァイオリンを手にした日から、ヴァイオリン弾きになるまでのプロセスを舞台上で再現。そして、彼がヴァイオリンを通じて音楽の「根源」にたどり着き、その結果、モンゴルへと旅立ち馬頭琴と出会った軌跡をクラシックの名曲とお話で楽しんでいただく音楽会。 【曲目例】 竹田えり／モンゴルの風　　ヴィヴァルディ／「四季」より　　モンティ／チャルダシュ ドヴォルザーク／ユモレスク　　作曲者不詳／ロンドンデリーの歌
	出演	ヴァイオリン：齋藤　真知亜　　馬頭琴・喉歌：嵯峨　治彦　　ピアノ：１名
プロフィール		■齋藤　真知亜 1962 年東京生まれ。1985 年東京芸術大学を首席で卒業。同年芸大オーケストラ定期演奏会のソリストに選ばれる。NHK 新人洋楽オーディション合格。1986 年 NHK 交響楽団に入団。1999 年からはリサイタルを毎年開催し、様々な楽器との共演を主とした「Viologue」、協奏曲を中心とした「Biologue」、現在はアルファベットを辿る「Dialogue」。その独特なプログラミングや演奏スタイルは、回を追う毎にファンを増やしている。2006 年より東京音楽大学の教授陣と共に弦楽四重奏団「Quattro Piaceri」に参加。ショスタコーヴィチ全曲演奏を中心とした活動は、各方面より注目を集め、2010 年に「第 65 回文化庁芸術祭音楽部門大賞」を受賞した。2007 年より NHK 交響楽団のメンバーによる「ヴィルトゥオーゾカルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏全曲演奏を完遂。西崎信二、奥田富士子、兎束龍夫、海野義雄、二村英之、山口裕之の各氏に師事。 現在 NHK 交響楽団第一ヴァイオリン・フォアシュピーラー、東京音楽大学非常勤講師。また、ジュニア・フィルでは指揮者として若者の育成に力を注いでいる。TaRaGa レーベルより「シェーンベルク/月に憑かれたピエロ」、SUGI レーベルより「ザ・ビートルズ・オン・ストリング・カルテット」「弦楽四重奏による＜ドラゴン・クエスト＞」、キングレコードより「クァトロ・ピアチェーリ」、マイスターミュージックより「ベートーヴェン/弦楽四重奏第 15 番＆大フーガ」「ゴールドベルク変奏曲」を各リリース。「ゴールドベルク変奏曲」はオーディオファイルのサイトにて優秀録音に評される。

©H.Ikezawa